

4月20日（火）

地鎮祭に行きました。この祭りの中に「地鎮の儀」というのがあります。鎌で草を刈り、鋤（すき）で穴を掘り、その穴の中に鎮物（しずめもの）を入れて、鍬で土をかぶせます。これらは、あくまでも儀式であり、本当に草を刈るなどということはしません。

鎌の儀では、木製の鎌で、土で作った山の上に挿してある草を刈り取る真似をします。「エイ、エイ、エイ」と三度声を掛けて、鎌を動かして刈り取る所作をします。所作だけで実際には草は刈りません。所作のあとに、草を引き抜いて草刈りの儀式終了となります。

今日の地鎮祭での鎌の儀式のことです。鎌の儀を行った人が、鎌を土の山に突き刺し、力を入れて「エイ！エイ！」と鎌を少し動かしていました。その次の瞬間、釜の刃の部分が折れてしまいました。「エ、エ？」三度目の掛声は「エイ！」ではなく「エ？」でした。こんなハプニングは、これまで何度も地鎮祭に行っていますが、初めてのことで、土の山に鎌を突き刺す人も初めてでした。

縁起の悪い状態になりましたが、何事もなかったかのように、釜の柄と刃を受け取りました。